ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度 その他河川 東川 通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．3	調査位置	広島県豊田郡大崎上島町木江			北緯	34° 14’ 25.3077″
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所			調査期間	平成 29年 2月 21日 ～ 29年 2月 23日	東経	132° 54’ 49.8456″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	71.59m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 24°	使用機種	試錐機	D1-B48（東邦地下）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	6.00m								エンジン	NFD-13（ヤンマー）	ポンプ	BG-3C（東邦地下）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1	69.79	1.80	1.80		礫混じり粘土	暗黄褐		硬	表層10cm植物根を含む。 含水小，粘性中位。 細礫点在する。	2/23 1.80	1.15	2	3/11	4/11	9/32	8.4							2/21
2											1.47												
3	67.79	2.00	3.80		粘板岩風化土、粘土	褐		極硬	粘板岩の風化土。 芯部まで風化が進み，土砂化が著しい。 岩構造は明瞭に残るも指圧で容易に圧砕される。 DL級，硬質粘土に区分		2.15	5/11	5	5/9	15/30	15							
4	67.09	0.70	4.50		風化粘板岩、礫質土	黄褐		密	礫混じり粘土状コアで採取される。 割れ目は交錯し，認識できない。 DH級，礫質土に区分		2.45												
											3.15	4	8	9	21/30	21							2/22
											3.45												
											4.05	19	31		50/20	75.0							
5	65.59	1.50	6.00		風化粘板岩、軟岩I	黒灰			コア長L=5cm程度の礫～岩片状コアで採取される。 割れ目沿いに軟質土砂化が著しい。 CL級，軟岩Iに区分		4.25												
											5.00	貫入不能			50/0								
6											5.00												
											6.00	貫入不能			50/0								2/23
											6.00												
7																							
8																							
9																							